

(Japanese Academy of Learning Disabilities)



日本LD学会会報 第62号

事務局：〒320-0851 宇都宮市鶴田町687-9 ムギショウビル3F TEL. 028-649-0090 FAX. 649-3318
 URL. <http://www.soc.nii.ac.jp/jald/>



S.E.N.Sを開かれた資格に

明治学院大学

下 司 昌 一

今、S.E.N.Sの学会連携化を目指す新しい試みが開始されている。比較的関連の深い学会に呼びかけ、すでに2回の会合（第1回：2006年12月、第2回：2007年4月）をもち、各学会からはこの趣旨に賛同する声が寄せられている。現在の状況では、本年度中に規約等の整備を行い、2008年度から、S.E.N.Sは「学会連携資格」として新たな一歩を踏み出す予定である。

これまで、S.E.N.Sの資格を取得できるのは、日本LD学会の正会員に限られていた。このたびの制度改定は、その枠を少し広げて、いくつかの連携する学会の会員の方もS.E.N.Sの資格を取得することができるようにすることである。それによって、S.E.N.Sの普及および資格内容の充実を図ろうと考えている。この2点について、さらに詳しく述べよう。

連携する学会の会員にもS.E.N.Sの資格を取得していただきたいと考える第1の理由は、S.E.N.Sの資格が特別支援教育の推進に役立つと考えるからである。本年度から、特別支援教育がわが国の公立小中学校において本格的に実施されることになった。しかし、小中学校の現場からは、「校

内委員会をどう進めればよいか」「特別支援教育コーディネーターに任命されたが何をすればよいのか」など戸惑う声も聞こえてくる。多くの方にS.E.N.Sの資格を取得するための研修（養成セミナー）を受けていただき、その成果を全国の子どもたちのために役立てていただきたい。

第2の理由は、S.E.N.Sの資格をより良いものにしていきたいからである。現在の養成カリキュラムは、長年にわたる研究・実践の成果を蓄積したものであり、一定の水準に達したものであると自負している。しかし、改良の余地がないわけではない。今後、連携する学会の方々のお知恵を拝借して、さらに専門性の高い、より良いカリキュラムにしていきたい。様々な視点からカリキュラムの見直しを行い、より現場に即した子どもの支援に役立つものにしていきたいと考えている。

また、学会間の連携を深めることによって、共に研修会を開くなど様々な取り組みが可能になる。過日、日本カウンセリング学会認定カウンセラー会と共同で行った「有資格者のための専門研修会」も、その一つの試みである。学会連携の将来に期待したいと思う。